

# 2016年4月特別賞

## 牛に引かれて 善光寺参り

江戸時代、善光寺信仰の広まりと共に全国に知られるようになった話です。

その昔、信仰心のない老婆が布を干している時、一頭の子牛がやってきて、角に布を引っかけて走り去ってしまいました。老婆は追いかける内に海く離れた善光寺まで辿り着きます。日が沈み、牛の姿も見えなくなったその時、仏様の光明が柱のように老婆を照らしました。ふと、足元に垂れていた牛の糞（たれ）を見ると、まるで文字のように見えます。

「牛のみと思いきや、おの道に故を導く己の心を」  
すると、老婆はたちまち信仰心に芽生え、一晩中念仏を称えながら家を目指しました。

家に戻った老婆が、近くの観音堂にお参りをしたところ、観音様の足元にあの布がありました。牛に見えたものは観音菩薩様の化身であったと気づきます。善光寺への信仰を深めたそうです。

あの牛を追っかけて来た筈なんじゃが。  
んんん？  
《善光寺参り缶》？  
何じゃ、これは！

この牛に引かれて善光寺の話をもチーフにお借りした《善光寺参り缶》です。販売エリアは善光寺界隈のみに限定させていただきます。皆様には、善光寺参拝の旅が、さらに思い出深いものになりますように。

**善光寺参り缶**  
420円(税込)  
七味唐からし14g缶・箱入  
【善光寺参り缶】は、販売地域限定です。

善光寺境内地(仲見世、他)のお店と、  
根元八幡屋磯五郎(本店)でどうぞ。

弊社ショッピングサイトなど、通販では販売いたしません。

**根元 八幡屋磯五郎**

【本店】電話 026-232-8277  
【本社】リーダール0120-156-170

いそごろう | 販売

2016年4月28日付 5段

株式会社 八幡屋磯五郎 [扱い ながのアド・ビューロ/制作 株式会社八幡屋磯五郎]